



第 6 2 回伊勢式年遷宮 お木曳き行事



御神酒『富乃神明』

富の神明さま

発行所
三富、富岡総鎮守
神明社
社報第 3 号

〒359-0002
所沢市中富1507
社務所電話
04-2943-1709
宮司宅電話
049-259-2228

新年のご挨拶

宮司 林 伊佐雄

新年明けましておめでとうございます。
新春にあたり氏子崇敬会の皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

さて、当神明社は、一昨年から三ヶ年に亘り神社本庁より埼玉県で唯一「第一期神社振興対策教化モデル神社」の指定を受けました。

初年度は、崇敬会、婦人会、青年会を結成させていただき、社報の発行、川越いも作り初めの祖である吉田弥右衛門の顕彰を目的に、青木昆陽と併せて境内に二柱の神様をお祀りさせていただきました。

氏子の皆様方には神社本庁指定「教化モデル神社事業」に赤誠のご奉賛を賜り厚く御礼申し上げます。まだ一年余りを残していますが、奉賛金の決算報告をさせていただきます。

二年目の今年度は、第六十二回伊勢式年遷宮のお木曳き行事への参加、サツマイモ収穫祭、御神酒『富乃神明』の完成、そして、鎮守の杜整備事業にも着手させていただきました。

駐車場の造成、『月の原 花の小径』の散歩道も作り、山野草の保護保全と、御神徳を仰ぎながら、憩いの場として鎮守の杜を提供させていただけたらと思います。

残された一年は、他県のモデル神社と情報交換をしながら、また氏子の皆様のご意見をお聞きしながら総まとめの年にしたいと考えております。

初心に返って神明に奉仕する所存でございますので、今後とも、これまで以上に御指導御鞭撻宜しくお願い申し上げます。



総代会長

阿部 征一

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。氏子並びに崇敬会の皆様には、健やかに新しい年をお迎えいただいたものとお慶び申し上げます。

さて、一昨年当神明社は、本社より埼玉県で唯一「第11期神社振興対策教化モデル神社」の指定を受けました。

本年度は、二年目を迎え、引き続き教化モデル神社として様々な事業の展開をしているところでございます。

中でも、昨年は、平成二十五年の第六十二回式年遷宮に向けて行われた、お木曳き行事に当神明社でも参加させていただき、大勢の皆様にご参加いただき思い出に残る年でした。

また、大勢の皆様方には、モデル神社の指定による事業に対しまして、赤誠のご奉賛を賜りました

「教化モデル神社」御奉賛収支決算書

収入の部

項目	入金額	適用
氏子奉賛金	11,496,000	
地区外奉賛金	270,000	
預金利子	1,225	
収入合計	11,767,225	

支出の部

項目	支払額	支払先・適用
お宮・台座	2,235,850	御用場宮店・秋元石材店
狛犬・撫いも	2,479,447	川口鋳金教室
お宮等基礎工事代	795,000	田中建設業
奉賛者名版	1,102,500	ブロンズスタジオアパンティ
社報・領収書印刷代	216,212	アサヒ印刷、深志印刷
遷座祭費用	728,789	祭祀舞、婦人会青年会法衣、電器照明等
御神酒製造、感謝祭	822,917	御神酒製造、正月焼き芋機等
会費等	31,000	所沢市観光協会等
御礼	347,050	祭祀舞講師、紙芝居制作、駐車場等
駐車場整備費用	1,143,208	駐車場整備、看板等
鎮守の杜整備	1,575,000	産廃処分代、散歩道整備
振込手数料	3,885	
支払い手数料	6,405	
合計	11,487,263	

総収入額 11,767,225
 総支出額 11,487,263
 差引残高 279,962

尚、残金は神社振興対策教化モデル事業に有効に活用いたします。上記の通り報告いたします。

平成19年 12月 会長 阿部 征一
 宮司 林 伊佐雄
 会計 井田 貞夫

こと心より厚く御礼申し上げます。指定期間は、まだ一年間あり、鎮守の杜の整備等事業は残っていますが、昨年度末の会計報告をさせていただきました。

本年も、少しでも社頭発展のために尽力させていただきます。ご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

平成十九年度 教化モデル神社事業報告

一、第六十二回伊勢神宮

式年遷宮お木曳き参加

平成十九年五月二十五日から二十七日にかけて、神明社奉曳段を結成し、総勢三十二名で、お木曳き行事に参加しました。千三百年続く歴史的な事業に、参加者の皆さんは感動されました。二十年に一度の式年遷宮、人生の中でそう多くはない機会です。



(1) お木曳きを終えて

二、甘諸乃神(いものかみ)御

遷座記念事業・収穫祭

十月二十八日、甘諸乃神御遷座を記念して、昨年引き続き収穫祭を行いました。本年は、紅赤を掘りました。早速、参加者に掘って奉納していただいた紅赤を、福島の酒蔵まで搬送。来年は、紅赤の『甘諸乃神』の御神酒が出来る予定です。



(2) 収穫祭

三、御神酒『富乃神明』完成奉告祭

完成奉告祭

十一月二十三日、完成した御神酒『富乃神明』の奉告祭を、いも神様のご神前で執り行いました。婦人部の皆様には、茶巾しぼりを作っていただき参列者に振る舞っていただきました。また、「いもどつかえ神事」も行われました。神前にサツマイモを奉納し、奉納されているものと交換し持ち帰り、それをいただく。と家内安全、無病息災になるという信仰に基づくものです。御神酒は、お札と一緒に頒布されます。



(3) 『富乃神明』奉告祭

四、駐車場整備事業

当社には駐車場がなく、ご参拝に来られた方々にご迷惑をおかけしておりました。氏子の皆様のご要望にお応えすべく、社務所の裏側を抜けて、奥の山林左に駐車場を造成いたしました。

あわせて、神社の看板、駐車場看板等も設置し、わかりやすくご案内させていただきます。

また、環境と景観に配慮し、砂利の使用を避けて、チップを駐車場に敷かせていただきました。



(4) 社殿奥に整備された駐車場

五、鎮守の杜整備事業
産廃廃棄処分

数十年前から、神社裏側の山道の雑木林内に、約二百坪にわたり、野菜のマルチやビニール、コンクリートなどのゴミ等が廃棄されていました。

費用がかかるということで、手がつけれませんでした。教化モデル神社の指定を受けて、鎮守の杜の整備とあわせ、思い切った処分することにいたしました。

埋もれた地中から、大量のゴミが出て参りました。環境が回復され、一安心です。



(5) 山道に捨てられたビニール、産廃等

六、鎮守の杜整備事業
『月の原 花の小径』

ジャングルのように荒れていた社殿奥の雑木林も、ここ十年近く山掃きを始め、リンドウ、萇、ムラサキシキブなどの山野草が顔を出し始めました。

鎮守の杜整備事業として、「月の原 花の小径（散歩道）」を雑木林内に作り、憩いの場を提供すると共に、山野草の保護育成を行っていきたくと考えています。

当地の住所の小字は「月の原」と言います。山野草に詳しい方のご意見をお待ちしています。



(6) 雑木林に自生するリンドウ

七、紙芝居寄贈

十月四日、三芳町教育委員会教育長に紙芝居『とめのいものはじまり』を寄贈させていただきました。

昨年、吉田弥右衛門御遷座の事業の一環として作成し、この度小学校配布が出来上がり、寄贈させていただきました。

三芳町図書館の事業に協力させていただく形で作成いたしましたので、寄贈は三芳町内の小学校のみとなっております。



(7) 小学校へ紙芝居の寄贈

●●●●●
月の原日記
●●●●●

教化モデル神社の指定を受けて、二年目が過ぎました。

指定を受けていなかったら、ここまでの数多くの事業は実施できなかったと思います。

一歩踏み出す勇氣と行動力を与えていただきました。そして、何よりも多くの皆様の御奉賛がなくてはできなかったことです。心から感謝申し上げます。

今まで元旦では、甘酒の無料配布をさせていただいていました。いも神様をお祭りさせていただきました。今年から豊作の年には、焼き芋の無料配布もさせていただこうかと考えています。

いよいよ平成二十年は、指定期間の最終年度です。ホームページの作成、花の小径の整備、祭祀舞の定着等事業を行って参りたいと思います。

また、今年から長男が神社の権禰宜となりました。宜しくご指導お願いいたします。